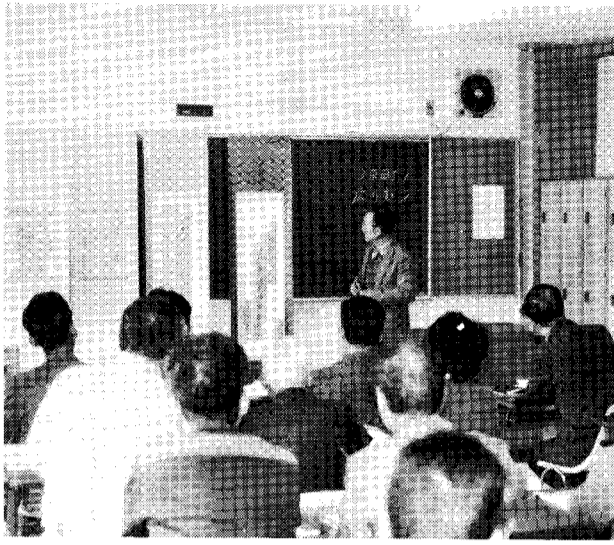


小須戸公民館報

町館 信日
戸常 15日
須公 月
中央 昭
小中 昭
成行 昭
毎行 昭
日 昭
印 昭

指導者登録制度

「指導者バンク」スタート



町内指導者による初心者拓本教室

中央公民館では、「情報センターとしての公民館」事業のひとつとして、自分の持つ趣味や特技、あるいは知識を幅広く町民に指導、助言していただける方を募集し、有効に活用するため、指導者登録制度「指導者バンク」を設置、開設します。

余暇時間を有効に使うために

今日、余暇時間の充実がマスコミヤ、私達の共通の話題となりつつあります。これは、週休二日制などが各職場で導入された事によって、余暇時間をいかに有効に使うか、を一人一人が考え始めたからと言えるでしょう。

そして、この余暇の充実を図る事で注目されているのは、ひとつは「レジャー」であり、もうひとつは中央公民館の活動である「生涯学習」です。

中央公民館の大きな事業である生涯学習は、広く町民に幅広い知識と技術、あるいは趣味的活動の場を提供し、利用して頂く事です。

指導者バンクの目的と役割

指導者バンクでの指導者の役割は、一言で言えば「自分のもっている知識や技術を外へ人に分けてあげる」事です。そして大切な事は、指導者と皆さんが共に学び合い、活動する事なのです。

一例を挙げますと、昨年、中央公民館が主催して、初心者社交ダンス教室と初心者写真教室を開催しました。これは、中央公民館で日頃活動している団体が指導者となり、参加者と一緒になつて教室を開催し、活動しました。常日頃得た知識を皆さんに教えてあげながら、共にもう一度学び合い、活動をする。これこそが指導者バンクを設置した目的と言えます。

指導者バンクを

有意義なものにするために

①大勢の人達から登録して頂く

ちよこつと一言 (12)

卒業を目前として

私達はもう少して卒業です。六年間は長いとばかり思っていたらもう二月三月と卒業の時が近づいてきました。



矢代田小六 諏訪間知恵子 さん

た。これから迎えるようとしていく卒業式も送る立場ではなく私達の卒業式です。今までと違うとても複雑な気持ちです。



初心者社交ダンス教室

六年生になってから例えば、文化祭なら前日までの準備はとて忙しく、当日はともなう楽しいのですが、今年は楽しいばかりではなく少しさみしいような気持ちです。

小須戸町史を読む会 成人大学講座古典講座が閉級

二月二十二日と二月二十七日に皆さんから親しんでいただいた「小須戸町史を読む会」と成人大学講座「古典講座」が閉級となりました。

閉級式当日は、中央公民館長より、一人ひとりに修了証書が手渡されました。

参加者の皆さんからは、「講座に来て楽しかった。閉級は残念だけど違う講座でまた来ます。」と、主催する側としては大変うれしい言葉をお聞き出来ました。



閉級式当日の様子

栄養改善料理講習会

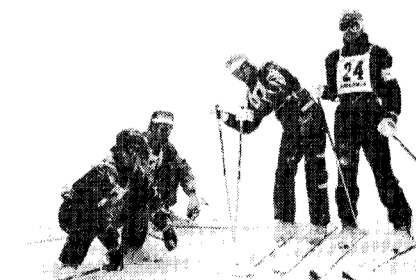
今までの日本型食事の中で不足がちな乳成分。昔からの食生活に現代の食べ物プラスして基本的な食品のバランス、エネルギーのバランスをこの機会に学んでみませんか。そこで食生活改善推進委員会による講習会を左記のように計画しましたので是非おいで下さい。

日時 三月十九日(日) 午後七時から
内容 乳製品を使って
◎鎌倉研修センター
日時 三月二十日(月) 午前十時から
内容 乳製品を使って

町民スキー教室

滑って、転んで、おもしろかったあ。去る二月十一・十二日の両日五日町スキー場にて町民スキー教室が三十八名の参加をえて、開催されました。

教室では、初級・中級・上級の三つの班分けをし、それぞれの実力アップにつながる様に熱心な指導が展開されていきました。参加者も上は四十代の壮年の方から下は二、三才の幼児まで幅広く、中には家族で参加される家庭もあり、来年も参加しようと思気込む方も居りました。



大盛況、第十二回ボケ展示会

ご覧になりましたか。三月三日から五日まで第二町体(旧小須戸小体育館)で開催された第十二回ボケ展示会、なかなか盛況で、他県は福島、長野、栃木、秋田からも見学に来るそうです。三日間の延べ入場者は一万人を超えました。

日本ボケ協会(窓口、小須戸町役場振興課)会長佐藤寅一郎さん曰く「今年で展示会も十二年目になりました。ボケを展示して、皆さんからボケになじんでもらい、よく知ってもらいたいですね。」

ボケ酒のつくり方 実をよく洗い、水ぶきとり輪切にして広口ビンの中へ砂糖と一緒に入れて、焼酎(ホワイトリカー)に漬ける、このとき果実が焼酎よりも出ないよう注意。二・三ヶ月したら果実を出し、こして飲みます。できたものはいつまでも貯蔵できます。

ボケ酒は漢方では貧血症に強

不明な点は中央公民館へお問い合わせ下さい。

健康は 社会参加と 自己管理 新町二 近藤 秀明 さん

好き嫌い 言わずに食べて 体力づくり 蔵町四 土屋 マサ さん

今月の健康づくり標語

ながいきしるね

子供達がお年寄りにプレゼント

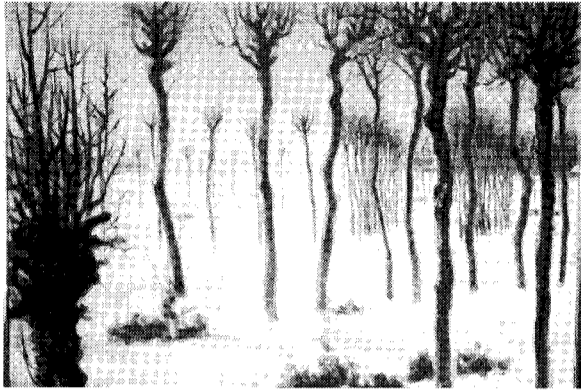
三月三日、ひなまつりの日に小須戸町の障害児達が、毎年恒例となった、ひとり暮らしのお年寄へのプレゼントを持って役場に来てくれました。

これは、ひとり暮らしのお年寄りに喜んでほしい、少しでも社会の役に立てればと、子供達一人ひとりが心を込めて作っているものです。今年は、卓上はた織り機で作った布作品、彫刻刀で握りしめ彫りあげた版画カレンダー、牛乳パックを利用し、ていねいに作った小箱など、りっぱな作品ばかりです。

また、親の会でも、子育ての暇をみて、かわいい人形を作りお年寄りにプレゼントしました。

町では、さつき町のひとり暮らしのお年寄りに手渡してきました。

春の暖かさに増して、心の温かさが伝わる子供達からの送りものでした。



お年よりのみなさんへ

矢代田小 川村大介

こんにちは、お元気ですか。ぼくたちも元気です。ところで今回もプレゼントを送る事にしました。送る物は版画カレンダーとしぼり染めしたハンカチです。これはぼくたちが考えに考えたプレゼントです。版画カレンダーはぼくたちが下書きから彫るまで自分でやりました。下手な失敗は失敗をかき消してやり直しました。そして、彫るのはぼくたちがいねいに心をこめて彫りました。しぼり染めの方は先生方が協力して一生けん命心をこめて作りました。その他にも小須戸小学校や小須戸中学校の人たちも素敵な、プレゼントを作っています。これは三月三日にお届けします。楽しみに待っていて下さい。



プレゼントを受けとる白井チヨノさん

全日本水墨展入賞作品の寄贈

ありがとうございます

川瀬勝平さん(電玄出身)

この度、新潟市亀員在住の川瀬勝平さん(電玄出身)より、小須戸町に水墨画「雪の越後」(百号・縦一四m横一七m)を寄贈頂きました。

この作品は昨年七月に開催された、全日本水墨展奨励賞作品であり、関係者から高い評価を受けた作品でもあります。

作品は役場内町長室に飾らせて頂きます。ありがとうございます。

川瀬勝平さん談

この作品は、私のふるさと小須戸を想って描いた作品です。

入賞作品ということで想い入れはありますが、自分のふるさとに飾り、みなさんに見て頂きたく寄贈させて頂きました。

ふゆさと散歩 (23)

夫婦で愛好、山野草

風間 満 治さん ヤヨエさん

この頃よくマスコミをにぎわしている山野草。特に雪割草などだが、一部の心無い人達に山を荒らされ、本当の愛好者は憂慮していると聞いた。

当町にも夫婦で愛好している方がいる。風間満治さん、ヤヨエさん夫婦(五十七才、五十二才、若葉町三)である。

「登山が好きでね、山へはよく行きました。山菜取りなんかのついでに採取して育てたのがきっかけだったと思うんです。」とは満治さん。昭和四十五年頃から夫婦揃って始められたそう。

「今は千鉢ぐらいあるかな。増やして、来た人にくれて、人が見れば雑草でしかねえんよ。」とヤヨエさん。山野草のよさは、色々な人達と友達になれたことと口を揃えて言われる。訪れる愛好者も夫婦ばかりだとか。満「山野草の栽培は天候にすごく左右される。むずかしいですよ。」

「山に採りに行くなんて事はしね。愛好者同士で交換して種類は増やしてます。」

山野草に対して心無い人達がイメージを悪くするのも困り物

新年度事業新会員募集

幼児家庭教育学級

あすなろやう子広場

子育ては親の永遠の課題です。皆さんと共に楽しい雰囲気の中で考え、学んでいきましょう。

期日 五月十日

会場 中央公民館・中学校プール

内容 乳児の健康を考える。親子プール遊び、外

子プール遊び、外

募集人員 0才児から3才児までの子を持つ両親三十名

参加費 無料(経費実費)

毎年のこの時期を楽しみにしています。りっぱな作品をありがとうございます。大事に使わせてもらいます。

子供たちありがとうございます

矢代田 白井チヨノ

毎年のこの時期を楽しみにしています。りっぱな作品をありがとうございます。大事に使わせてもらいます。

俳句教室

五・七・五の十七文字で詠む

催し物

おさらい会ご案内

菊扇流舞踊

期日 三月十九日(日)

午前十一時開場正午開演

会場 中央公民館三階ホール

主催 寿之会

後援 小須戸町文化協会

鎌倉高令者お楽しみ会

期日 三月十九日(日)

午前十時開演

会場 鎌倉研修センター

主催 鎌倉民謡同好会・節案会

節友会



「私達は自生地の環境を勉強したくて山に入るだけなんです。本当に残念です。」

芽出しが山野草のすべて。いい芽が出て、その花を想像するだけで何とも言えないとか。

満「定年になったら、力を入れてむずかしいのをやりたいわ。」

「自分が栽培した花の写真集を作ってみよう。」

愛好者の夢は尽きる事は無い。



分館催し物ご案内

第五回園芸相談会並びに展示即売会

期日 三月二十六日(日)

午前十時より正午まで

会場 矢代田公会堂

講師 地元有志

主催 矢代田分館

後援 矢代田園芸クラブ

※盆栽等展示希望の方は当日午前十時までに会場へどうぞ

日本画教室

楽しんで日本画を習いましょう。

期日 毎月第一月曜日午後七時三十分から九時三十分まで

会場 中央公民館二階学習室

会費 無料(経費実費)

指導者 鈴木美弥子先生

クラブ員募集

コールあじさい

期日 毎週水曜日 午後七時三十分から九時三十分まで

会場 中央公民館三階ホール

会費 月五百円と運営費として年間一入二千円

講師 加藤隆子、宇野澄子先生

小須戸川柳会

期日 毎週第一・第三金曜日の午後七時三十分から九時三十分

会場 中央公民館二階学習室

会費 月千円

講師 夏井たつや先生

小須戸川柳会

題「蕾」

咲かせたい受験地獄にこの蕾
ときめいた蕾の頃はもう来ない
お見合いの写真は蕾のように撮り
気まぐれの春に蕾が大あわて
寒梅の花は蕾のうちががいい
親の目へつばみ影らむ娘の化粧
いつまでも蕾で居たい我が人生
待ちきれず蕾のうちから花見客
句いふく梅の蕾に振り返り
何時までも売れぬ蕾にたつ噂
雛祭の蕾の様なお客様
咲きかけた昨日の梅に今朝の雪
早咲きの蕾引きぬく目が狙い
お雛さま蕾一人で大騒ぎ
一浪のつばみはころび春の風
言いそびれ蕾のまままで恋終る
丹精の鉢に期待の蕾もつ

加藤米二
長井武雄
我妻清作
栗原ひさし
成田常信
高橋ただし
吉田源吾
岡田良平
松沢キヨ
駒村幸世
五村タネ
安達キヨノ
藤井春江
保科志枝
小見ケン
渡辺信子
吉田みな

短歌クラブ作品

遠雷にしくれ降る夜は文送り餅も送らむ遠きわが子に
山路きて急に羽ばたく音聞けば雉子は漢より飛びたちけり
野保玲子
日脚のぶ店に花桃販がれて離の日近き街は賑わう
高橋キヨ
日照りなるむらさきしきぶ花結び青きつづぶ五形整う
吉田久次
愛読書開けばワインの色したるもみじ葉いとつ若き日語る
小林芳子

二月例会作品

小須戸町俳句同好会

元号の送迎四度や老の春
七草や里の言葉が玄閑に
手作りの茶の房や冬いちご
玻璃窓に雀来て鳴く三ヶ日
雪見舟雪見ぬままに下りけり
心なき世辞うらはらに冬ぼたん
一月の同じ所に鴉の巣
鶯の輪と城等高に冬うらら
昭和今しずかに去りぬ寒北斗
日脚伸ぶ賽銭箱の大あくび
手つかずの蕾え野菜冬ぬくし
野ソ駆除のはじまり村の春隣
着ぶかれてときどき母のひとり言
蟹売りの旗はためくや春隣

松山
可津朋
久子
富沙子
香月
美根子
素糸
蒼穹
良遊
虚秋
ミナ
秀穂
越楼
太浪

短歌

善良なる心のためなる苦しみを説くニイチエ
の著書読み終す
灰色の芽ふくらみし木蓮の花芽は夕の碧空に立つ
伊藤照溪
頸長くのばしし嘴を天に向け白鳥の声地にひびき相つ
加藤 茂